

## 2016参議院選挙 各党の年金・社会保障政策比較

2016/06/22 現在

項目／政党	自民党	公明党	民進党	共産党
社会保障全般	①基本政策⇒「自助」・「自立」を第一に、「共助」と「公助」を組み合わせ、持続可能な社会保障制度を構築。弱い立場の方には援助の手をさしのべられる社会保障を	社会保障の充実とそれを支える「ひと」がいてこそ安心の生活があります。保育、介護、障がい者福祉を支える人材の養成・確保を国家戦略に	老後破産、老後格差など、毎日まじめに生きていても不安が募るような社会は間違っている。幸せに年を重ねることができる社会を実現する	年金・医療・介護・福祉を立て直し、憲法25条が定める生存権保障にふさわしい制度へと改革する
年金制度	②選挙政策⇒アベノミクスのエンジンをフル稼働。赤字国債に頼ることなく安定財源を確保して、可能な限り社会保障の拡充を行う  (注・年金制度の記述なし)	(注・年金制度記述なし)	①来年4月から低年金者の年金かさ上げ(年間最大6万円)する。受給要件の保険料支払い期間を25年から10年に。 ②年金積立金を安全運用(安倍政権は株式投資増で5兆円の損失)	①年金削減をストップし、低年金を底上げして、「減らない年金・頼れる年金」を実現。 ②最低保障年金制度をめざす
医療制度	①予防医療など健康管理事業を推進し、健康寿命の延伸に取り組む。②認知症高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、サポーターの育成、認知症カフェなどを推進する	①賃金引上げなど処遇改善、社会的評価の向上、キャリアアップ支援、 ②地域における支え手の拡大、専門性の強化、 ③業務負担の軽減と生産性向上⇒ICTの活用や介護ロボットの導入、 ④再就職支援や資格試験制度などの見直し	医療・介護・保育・障害福祉にかかる自己負担の合計額に上限を設け、安心してサービスが受けられる「総合合算制度」を創設する	①高すぎる医療費の窓口負担、国民健康保険料(税)の軽減。 ②後期医療保険料の値上げ反対。高齢者差別の廃止
介護保険	①介護離職者ゼロをめざし、介護基盤を50万人分増やす。 ②質の高い介護サービスの提供のため、財源を確保して介護人材の確保と離職防止に努める。 ③キャリアアップの仕組みを構築し、月額平均1万円の処遇改善。		①介護士などは重労働、低賃金で慢性的な人手不足を招いている。介護職員・障害福祉従事者の月給を1万円引き上げる ②入所待ちを減らし、介護が必要な人が必要なサービスを受けることができるようにする	①特養ホームなど介護施設の抜本的増設で待機者解消。 ②保険料・利用料の減免。 ③介護報酬を引き上げ、労働者の賃上げ・労働条件の改善
財源問題	①アベノミクス効果で税収増21兆円(2012年度比。うち9兆円は消費税5→8増税分) ②消費税10増税は2年半延期する	軽減税率の円滑な実施	◇国の借金、地球温暖化など、負の遺産を次世代へ残さないように ①財政健全化推進法をつくる ②格差を是正する財政改革⇒大企業、富裕層に応分の負担を求める ③議員定数削減など身を切る改革	◇消費税10増税の断念・中止。 ①大企業優遇税制を正し中小並み課税に、②富裕層への優遇を正し適正課税、③タックスヘイブン税制の徹底など、 ④合計22兆円の財源確保案を提示

資料：各党 HP「2016年参議院選挙政策・公約」より抜粋。(主要4党に限定)

：最近の世論調査によると今回の参議院選挙で重視する政策は、「年金・医療・社会保障」が断トツに多く、毎日新聞27%、読売新聞34%となっています。